討議資料

神奈川県議会委員

永田まりな

MARINA NAGATA

鎌倉人　VOL.47

県議会　国際文化観光・スポーツ常任委員会で質疑しました

5月14日に開会した令和元年度第2回定例会は、7月8日に閉会しました。
私は、国際交流及び国際協力、文化の振興、観光、スポーツ、ラグビーワールドカップ2019、第32回オリンピック競技大会・東京2020パラリンピック競技大会、そのほか国際文化観光局やスポーツ局の仕事について審査をする国際観光文化・スポーツ常任委員会に所属し、質疑を行いました。
外国人観光客等の受け入れ環境整備の強化、誘致の取り組みや指定管理者の指定、オリパラに関するもの、鎌倉由比ガ浜ビーチのバリアフリービーチに向けた取り組みなど、国際文化観光局関係、スポーツ局関係合計で約1億8000万円の補正予算などを審議しました。
私からは多岐にわたって質疑をしましたが、ここでは鎌倉市に関係する主だった質疑内容、またそれに対する要望をご報告致します。

東京2020大会・セーリング競技開催に向けて

Q

昨年開催されたセーリングワールドカップでは、漁業者との関係等様々なことがあったことは聞き及んでいるが、まず、どのような問題があったのか、改めて確認したい。
そうしたトラブルへの対応について、現在では解決済みなのか？

A

事前に取り交わしたレース開催時刻が、諸事情で漁業者に通告なく変更になった。その点はきちんと話し合い、ご理解いただいた。

Q

東京2020大会のセーリング競技が行われる江の島周辺は、土日ともなれば交通渋滞が発生することは地元の私も承知している。そのような状況にある江の島周辺エリアにおいて、公共交通機関の利用を促進するというが、江ノ電は今でも大変に混雑している状況であり、これ以上乗客が増加するとなると、沿線地域にとっても大問題となってくる。
そうした状況がある中、公共交通機関の利用を促すような取組は効果があるのか？ また、本番となる東京2020大会のセーリング競技は、今年の大会以上の盛り上がりが予想されるが、今回の公共交通機関の利用を促す取組をどのように検証し、本大会に活かしていくのか？

A

交通渋滞に関しては承知している。江ノ島へのアクセスは江ノ電だけでなくモノレール、小田急とある。シミュレーション上はまだ分散できると考えている。今大会の結果を検証し、来年に活かしていきたい。

地域が抱える課題、ポイントはここ！

まず漁業者との調整について、セーリング競技は自然相手の競技であるため、気象状況で対応に迫られることは理解する。
しかし昨年のようにレースの開始時間を、漁業関係者の同意なく変更するなど、信頼関係を損ねるようなことがあってはならない。
来年の本大会の成功には、漁業関係者の皆様の協力が不可欠。
昨年の課題を活かして、しっかりと協議をしながら進めていただくことを要望する。

また、自動車の渋滞対策について、選手たちが宿泊される大磯から江の島については、色々な手段を考えていると思うが、鎌倉・葉山・三浦周辺の道路についても、是非国道134号全体として捉え、対策を講じていただくよう要望する。

公共交通機関対策は、鎌倉市でも江ノ電が大変混雑しているのでモノレールを利用していただくような施策をこれまでも数々講じているところであるが、なかなか解決しない実態がある。
そうした中で、小田急・江ノ電・モノレールと3つの公共交通に分散させることは容易でないと考える。オリンピックとは関係なく観光に来られている方を含め、混乱なきよう堅実に検証に取り組んでいただきたい。

バリアフリービーチに向けた取り組み

Q

鎌倉の由比ガ浜を、バリアフリービーチとしていくとのことだが、その整備される内容について、もう少し詳しく伺いたい。
県内には多くの海岸があると認識している。なぜ、鎌倉の由比ガ浜を整備することとしたのか？バリアフリービーチではマットの購入とスロープの整備を予定しているが、そのスケジュールについて確認をしたい。

A

車椅子でも砂浜へ降りれるスロープを数年かけて整備をする。
また特殊なマットを海水浴場に整備をし、障がいをお持ちの方も海水浴を楽しんでいただける環境を整備していく。鎌倉を整備することになったのはこれまで鎌倉では市民団体のみなさんや、海水浴場関係のみなさん、鎌倉市がバリアフリーに向けて活動をされてきた実績があるため。議会で補正予算が可決された後、マットの契約に入るのでマットが整備できるのは8月の後半になる。

魅力的なビーチに！ ポイントはここ！

今回の鎌倉海岸由比ヶ浜おけるマットやスロープの整備は、車いすの方々などが、海岸で活動できるビーチに向けて、まず第一歩が進んだと感じている。しかし、車いすの方々が、自らスポーツをする際には、例えば、水陸両用の車いすなどの器具、あるいはサポートする人などの準備も必要。そうした取組についても、地元や関係団体とともに考えていただくよう要望する。（※鎌倉市では水陸両用の車椅子の無料貸し出し、そして土日祝日に介助員を配置予定）

今回の整備は、補正予算成立後に着手するため、8月末の実施になるほか、地元独自で取り組むものもある。今年の海水浴シーズン中も、地域と固く連携し対応いただくことを要望する。

バリアフリービーチとは、誰にとっても楽しめるビーチ、というのが本来の姿である。今回ビーチマットを整備する由比ヶ浜海水浴場が、障害や年齢にも関わらず、誰もが気軽に安心、安全に楽しめるビーチになるよう、地元とも連携して進めていただくとともに、このバリアフリーの取組が、県内の他の海水浴場にも広がっていくよう要望する。

鎌倉の代表として、県議会でも鎌倉の現状を訴えて行きます
地域の課題が、自分の課題！ これからも … 全力投球、鎌倉!!

永田まりな プロフィール

1983 年2月19日生まれ・35 歳・AB 型・七里ガ浜在住
聖路加幼稚園 ～ 七里ガ浜小学校 ～ 北鎌倉女子学園中学校 ～ 鎌倉高等学校 ～ フェリス女学院大学卒業

2004 年度ミス鎌倉、鎌倉ケーブルテレビリポーターを経て
大学卒業後はフリーアナウンサーとして活動

2013年 市政へ挑戦、4月鎌倉市議会議員初当選。メディアでの経験を生かし
YouTube で市政報告情報発信チャンネル「鎌夢会チャンネル」を開局
女性の生き方の選択肢を増やしていきたい…との思いから
就労環境の創出・改善について様々な角度から議会に質問、政策提案！

2015年より、大学生インターンの受け入れを実施
夏（8-9 月）と春（2-3 月）の年2回、これまで計 11 人が活躍

2017年 2期目に再選
2019年 4月神奈川県議1期目 当選

ブログ
更新中!!

永田まりな

e-mail：nagatamarina2013@gmail.com　nagatamarina.kamakura